

令和4年度 中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者アンケート調査結果

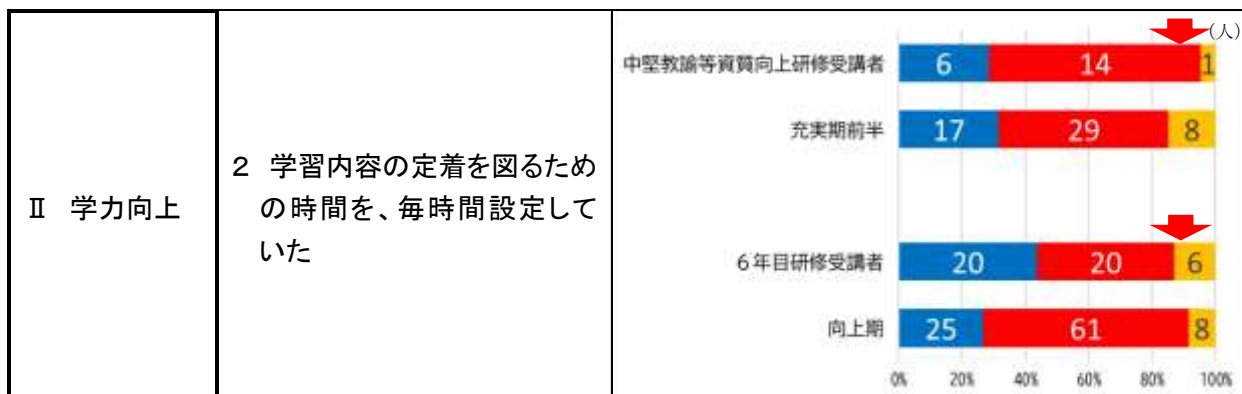
4段階評価（青:できた 赤:ややできた 黄:あまりできなかった 緑:できなかった）

↓ 目標値

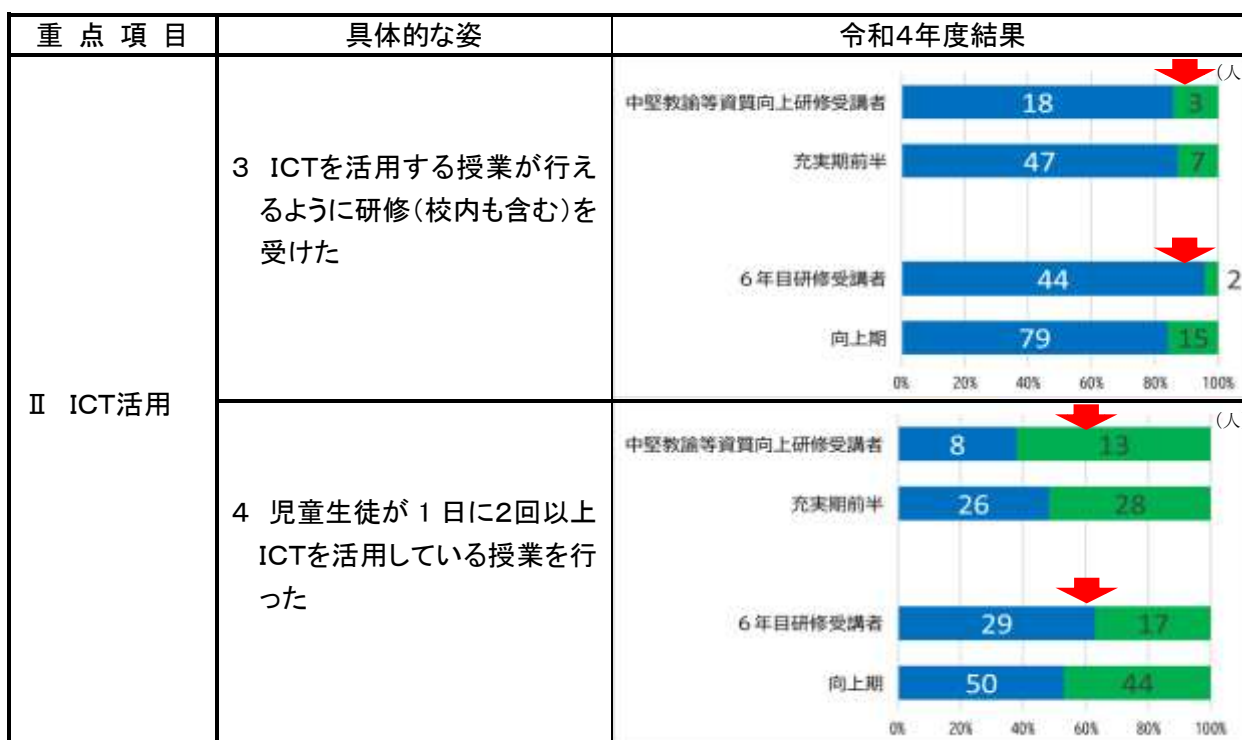
重点項目	具体的な姿	令和4年度結果
I 自己有用感の育成	1 児童生徒が豊かなかかわりの中で自分や周りの人のよさに気づくような手だてを講じた	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 4 15 2 (人)</p> <p>充実期前半 13 38 3</p> <p>6年目研修受講者 14 31 1</p> <p>向上期 20 71 3</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 4 12 5 (人)</p> <p>充実期前半 9 37 7 1</p> <p>6年目研修受講者 12 26 6 2</p> <p>向上期 19 59 16</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 1 15 4 1 (人)</p> <p>充実期前半 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>

- ・ I-1から、同じキャリアステージでも6年目研修受講者の方が肯定的評価が高い傾向にあることがわかる。
- ・ 90%の目標値に対して、肯定的回答率は高い。しかし「できた」の割合が小さく、できたと言い切れるまでの実感が持てないのではないかと考えられる。
- ・ スクリーニングやQUについてもI-1と同様の傾向がみられた。諸検査は行っているが、支援に活かされたかという点で、肯定的に回答できなかったと思われる。これまでに多くの学校で諸検査が実施されている。そのため多くの教職員は活用法についての研修受講の経験もあり、中堅教諭等資質向上研修や6年目研修では取り扱っていないが、今後、活用事例等の情報発信をはじめ、教職員が活用できるコンテンツ等についても検討していく必要がある。

重点項目	具体的な姿	令和4年度結果
II 学力向上	1 学習意欲を高めるために、前時の振り返りから児童生徒と共に具体的なめあてづくりを行った	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 1 15 4 1 (人)</p> <p>充実期前半 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 1 15 4 1 (人)</p> <p>充実期前半 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
		<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 12 27 15</p> <p>6年目研修受講者 9 27 8 2</p> <p>向上期 14 61 17 2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>



- 概ね目標値を達成した。特に中堅教諭等資質向上研修受講者の肯定的回答率が高い。中堅教諭等資質向上研修受講者の多くは、初任者をはじめとする若手教員への指導支援等の取組から、「徹底」に係るスキルアップが図れたと考える。6年目研修受講者には「できた」と回答している割合が高い。校外研修での協議場面でも積極的に話し合う姿が多くみられた。おそらく校内においてもチャレンジ精神をもって実践をしており、その手ごたえを感じた者が多かったのではないと思われる。
- II-2では、昨年度の中堅教諭等資質向上研修受講者のみの回答では、肯定的回答が100%となった。昨年度の6年目研修受講者においても93%と高い結果となっている。受講して学んだことを生かして実践を重ねることで、より学力向上に係るスキルアップが図られてくると思われる。



- II-3は、中堅教諭等資質向上研修受講者や充実期前半の者は目標値に届かなかったが、6年目研修受講者は近い結果となった。校内でICT活用を推進していく一翼を担っている者が多いためではないと思われる。
- II-4では中堅教諭等資質向上研修受講者や充実期前半の者において目標値に達することができなかった。昨年度の「1日1回」から「1日2回」となり、意識して活用していたが、学習内容や方法を考えた上でICTを活用していない学習もあり、このような結果につながっていると思われる。学校での教育DXをめざすうえでも活用頻度を増やし、教職員も児童生徒もスキルアップしていく必要がある。今後も学校でのICT活用推進に向けて研修をしていく必要がある。

重点項目	具体的な姿	令和4年度結果
Ⅲ Myアイデアの活用 ※1・2は研修受講者のみ回答 5・6は中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者のみ回答	1 Myアイデアを自分の業務に活かそうとした	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 21 (人)</p> <p>充実期前半 30 (人) + 11 (人)</p> <p>6年目研修受講者 43 (人) + 3 (人)</p> <p>向上期 61 (人) + 22 (人)</p>
	2 Myアイデアを職場で共有し、活用しようとした	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 14 (人) + 7 (人)</p> <p>充実期前半 18 (人) + 23 (人)</p> <p>6年目研修受講者 20 (人) + 25 (人)</p> <p>向上期 37 (人) + 45 (人)</p>
	5 学校力アップにつながる案を管理職に提案した	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 8 (人) + 13 (人)</p> <p>6年目研修受講者 16 (人) + 30 (人)</p>
	6 学校力アップにつながる案を分掌部会、プロジェクトチーム等に提案した	<p>中堅教諭等資質向上研修受講者 12 (人) + 9 (人)</p> <p>6年目研修受講者 26 (人) + 20 (人)</p>

- Ⅲ-1は、中堅教諭等資質向上研修受講者の肯定的な回答率が100%、6年目研修受講者においても90%を超えた。校外研修で、受講ガイド動画視聴やMyアイデアシートを活用した振り返り等を行ったことがこの結果につながっていると思われる。
- Ⅲ-2の結果も中堅教諭等資質向上研修受講者の肯定的回答率が高かった。中堅教諭等資質向上研修受講者の多くは、初任者をはじめとする若手教員への指導支援等を行っているため、研修について共有する機会が多かったのではないと思われる。
- Ⅲ-5、Ⅲ-6の結果から、Myアイデアを分掌部会やプロジェクトチーム等に提案した者は多かった一方、管理職への提案ができたと答えた者は少なかった。中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者においては、学校力強化に向けた取組みを推進していく役割を期待し、校外研修等を行っているが、研修で学びMyアイデアを持てたとしても、自分が担当している分掌でないと管理職に提案という機会を作りにくかったと思われる。

中堅教諭等資質向上研修受講者・6年目研修受講者ともに、研究主任や授業改善に関わる分掌担当がある者の方が、研修での学びを校内に生かしやすいという傾向がみられた。研修受講者の学びを、より学校に還元できる一つの方策として学校へ提案していきたい。